

《国際ビジネス管理職必修/実践研究講座》

4時間で習得 ～経営幹部、海外出向者の為の～

グローバル実践/国際経営管理基礎講座

■日時■ 2014年 11月17日(月) 13:30～17:30

■会場■ 東京・麹町・企業研究会セミナールーム TEL: 03-5215-3511

■講師■ 早稲田大学ビジネススクール非常勤講師 田中 孝明 氏

(前 (株)東芝執行役 常務/ グローバル経営管理・海外事業推進業務担当<アメリカ5年、中国5年駐在>)

米サンダーバード国際経営大学院国際経営学修士。1973年イスラエルのヘブライ大学に国費留学生として留学後、1975年東芝に入社。東芝では、初期のキャリアとしては国際人事管理を担当し海外人材の育成に取り組み、欧米、アジアなどの海外子会社での人材育成・管理制度などを開発支援。経営管理職としては、アジアでの市場開発、東芝アメリカ社総務担当VPなどを経験。1999年の社内カンパニー制導入後には多くのM&A案件や事業再編を実施し、その後アジアやBRICsなどの新興市場開発を中心とするグローバル経営管理、海外事業推進業務(事業部長)を担当した。2007年から2011年まで執行役常務、中国総代表を務めた。2012年から早稲田大学ビジネススクールにて「国際経営管理の実践」を講義(英語)している。近著に「グローバルプロフェッショナルの基礎知識」日経BP社がある。

◆ 開催にあたって

今、日本企業は大企業のみならず中小企業も含め、将来の国内市場縮小を前提に事業のグローバル化に真剣に取り組んでいます。グローバル展開の加速にはM&Aも有効であり、アジアでの企業買収も活発化しております。増加する海外子会社、その経営を任される経営責任者には地域戦略を確実に実行し、持続的に利益を生み出すことで日本本社に利益還元することが求められます。本セミナーでは、グローバル化を実行するなかで、国際経営管理の枠組み、海外子会社経営管理の問題点、M&A、特に買収後の経営管理上の留意点などにつき、基本に立ち戻り、各管理手法についても分かりやすく解説し、実務の要点についても押さえることを目的といたします。

《詳細は裏面をご覧ください》

●受講料● 1名 <資料代込>

| | |
|-----|-----------------------|
| 正会員 | 32,400円 (本体価格30,000円) |
| 一般 | 35,640円 (本体価格33,000円) |

*会員企業は、こちらでご確認いただけます。
http://www.bri.or.jp
申込書をFAX又はE-mailでお送り下さい。
受信確認後、受講票・請求書をお送りします。

●申込書をFAXで送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

一般社団法人 企業研究会 事業開発部
担当:福山 E-mail fukuyama@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F
TEL 03-5215-3513 FAX 03-5215-0951

*後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りいたします。

*お申込書に記入頂いた個人情報は、研究会に関する確認・連絡、及び当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

*最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます
事もありますので、何卒、ご了承ください

【申込書】 FAX 03-5215-0951

| | | | |
|-------------|-----|---------------------------|-----|
| 141609-0901 | | グローバル/国際経営基礎講座 2014.11.17 | |
| 会社名 | | | |
| 住所 | 〒 - | | |
| TEL | | | FAX |
| 所属 役職 | 氏名 | フリガナ | |
| e-mail | | | |
| 所属 役職 | 氏名 | フリガナ | |
| e-mail | | | |

*会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより(TOP)→[公開セミナー]→[よくあるご質問]をご参照下さい。

●プログラム ●

11月 17日(月) 講師:早稲田大学ビジネススクール非常勤講師 田中 孝明 氏

(前 ㈱東芝 執行役 常務 中国総代表/ グローバル経営管理・海外事業推進業務担当)

講演1部

13:30

『海外子会社における経営管理実践的考察』

1. はじめに：新たなグローバル化の経営課題
①企業活動のグローバル化 ②日本企業の海外進出の歴史 ③外資企業の不利
2. 海外子会社の経営管理
(1) 海外子会社の管理体系
①海外子会社をモニターする ③地域別管理と製品別管理
②母国本社と海外子会社の関係の変化 ④マトリックス管理は可能か
(2) グローバル企業の類型
3. 海外子会社の4つの役割
(1) Strategic Leader (戦略的先駆者) (3) Implementer (実行者)
(2) Contributor (貢献者) (4) Black Hole (試験的挑戦者)
4. 海外子会社管理の枠組み
(1) 基本的なメカニズム・行動基準・経営計画・3P (Philosophy、Principle、Procedure) 共有化
5. 海外子会社の組織設計・管理
①組織管理の重要性
②組織管理の原則
③組織設計の実践
④組織文化を管理する
6. 海外子会社の人的管理
(1) 流動的な労働市場における人的資源管理 (3) グローバル人材の4象限
(2) 海外子会社における人的資源管理の注意点

15:30

(休憩)

講演2部

15:40

『企業統治(コーポレート・ガバナンス)/M&A/経営の現地化とリスク管理』

1. 企業統治 (コーポレート・ガバナンス)
(1) CSR 経営のメリット
(2) 海外子会社の企業統治の枠組みとリスク管理
①各国の贈収賄の防止策 ③セキュリティリスク
②カントリーリスク ④事業運営リスク
(3) リスク未然防止の枠組み
①リスクテーブルを母国本社と共有する ②組織学習を推進する
2. 海外進出と M&A
(1) M&A の3分類
①水平統合 ②垂直統合 ③多角化統合
(2) M&A のプロセス
①基本ステップと枠組み ③詳細調査 (デュー・デリジェンス)
②契約で定めるべき事項 ④最終の条件交渉
(3) 合弁会社の設立
①合弁会社のメリットとデメリット ③交渉のポイント
②合弁会社設立の形式 ④合弁契約書の注意点
(4) M&A 後の経営管理のポイント
①共有化と自由裁量 ②合弁会社が迎える分岐点
3. 経営の現地化
(1) グローバル化の転換期 (3) 地域統括会社の設立と活用
(2) 経営現地化のメリット
4. 母国本社と海外子会社の課題
～アジア市場での優位性再キープと国際経営管理の形づくり～
(1) 母国本社の課題
①本社のリーダーシップ ②グローバル経営支援体制の構築 ③海外子会社への責任と権限委譲
(2) 海外子会社の課題
①役割の明確化 ③経営能力の高度化
②経営管理体制の整備 ④経営の現地化

17:30